

令和4年度 第3回 気賀小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和4年10月26日（水） 午後1時00分から午後3時20分まで
- 2 開催場所 気賀小学校 第1会議室
- 3 出席委員 稲垣正、石川隆久、長谷川真奈美、小田木真砂子、藤田嘉代、  
木俣契一、石田潤司、熊谷宗佑
- 4 欠席委員 宮崎順孝、大村清美
- 5 学校 齊藤昌長（校長）、古橋孝文（主幹）、朝比奈愛子（CS担当職員）、  
内山尚子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 小川誠司（教育総務課）
- 7 傍聴人 なし
- 8 協議事項  
(1) 学校支援コーディネーターの活動経過報告  
(2) 学校の抱える課題（気賀の子供たちの現状）についての進捗状況報告  
(3) 来年度の教育課程について
- 9 会議録作成者 内山尚子（CSディレクター）

10 会議記録

司会の古橋主幹から、委員総数10人のうち8人の出席があり、過半数を超えているため会議が成立している旨の報告があった。

また、議長の選出について意見を求めたところ、多くの委員から稲垣委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

(1) 学校支援コーディネーターの活動経過報告

議長の指示により、小田木委員、藤田委員から別紙資料に基づき報告があり、委員からは以下の発言があった。

・前年度より活動内容が広がってきた。保護者の協力が多くなってよかった。

（稲垣委員）

・必要な人材を探す手伝いをするので必要な時は依頼してほしい。（石川委員）

・校外学習で歴史探検に参加したが、自分にとっても新たな発見があり、貴重な経験となった。参観会も最近ないので、子供の違った面が見られてよかった。（熊谷委員）

(2) 学校の抱える課題（気賀の子供たちの現状）について進捗状況報告

議長の指示により、齊藤校長から別紙資料に基づき説明があり、委員からは以下の発言があった。

・気賀小の伝統、ずっと続けてきていることはこれからも継続してほしい。（石川委員）

・じゅげむでは読み聞かせが終わると子供たちとの交流をもたずすぐ帰るので、話がで  
きず、寂しく思う。（長谷川委員）

・年度当初に比べて最近は、少し子供らしさ（明るさ、活発さ）が出てきてほっとして  
いる。（稲垣委員）

・子供たち同士で対話ができいていないと感じる。（石川委員）

・子供たちが、授業の内容を必要感をもって考えているかが、グループ協議などの時に  
子供たち同士での対話につながっている。最近では、授業や生活、ゲームの中で、メ  
ディアツールを使うことが増えてきていて、実際に声を出さずに、画面上で言葉を入力して  
対話している。そのため、人間関係をつくったり、いろいろな体験をする時間が少なくな  
っている。学校行事を通し、縦割り班などを積極的に取り入れ、子供たちに交流の場  
をもたせたい。（齊藤校長）

・子供と地域の人たちとの交流が少なくなってきたが、子供たちの声（サイン）を見逃さないように成長を見守っていくことが大切だ。（石田委員）

### （3） 来年度の教育課程について（2023 Kiga Plan）

議長長の指示により、齊藤校長から別紙資料に基づき説明があり、委員からは以下の発言があった。

・今後学校で必要な支援はあるか。（藤田委員・小田木委員）  
・中学では2年後、部活動を地域クラブへ移行するので、小学校も地域で部活動支援してほしい。その場合、部活の時間帯を夕方からにするのも可能になるのでは。

（齊藤校長）

・地域で小学生を受け入れられるのか。（稲垣委員）  
・部活の指導者（地域人材）がいるか、持続可能か知りたい。（齊藤校長）  
・地域クラブは、平日は無く、土日が主。（熊谷委員）  
・部活がなくなると放課後は家庭に帰り、子供だけで過ごす場合もあるのでは。

（長谷川委員）

・いろいろな問題が絡んでくるので、今までできたことのやり方を考え直して、新しいやり方を考えていく必要がある。（齊藤校長）

・6年生の家庭学習は自由になっていて面白いが二極化する。（小田木委員）  
・学年全員同じ課題に取り組むのは、今の時代難しいのではないか。（稲垣委員）  
・家庭学習に対する共通理解（家庭）が困難である。（齊藤校長）  
・家庭も子供も多様化していて対応が難しい。（長谷川委員）  
・学校として、家庭学習は必要だと思うか。（稲垣委員）  
・連続性は必要、将来役立つかは別問題。勉強することの楽しさを見つけてほしい。

（齊藤校長）

・家庭の協力も大きいと思う。（稲垣委員）  
・担任から子供のやりたいことにサポートがあると子供もより学べる。（小田木委員）  
・低学年のうちから、視野が広がる経験が増えるといいと思う。（長谷川委員）  
・様々な意見をいただき、これらを今すぐ解決する事は難しいが、新しい方法を考えながら、来年度の教育課程に示せるようにしたい。（齊藤校長）

### その他連絡事項等

・学校運営協議会の自己評価について、記載例を参考に記入し、第4回学校運営協議会に持参いただく旨の説明があった。

・来年度の学校運営協議会の委員について齊藤校長から説明があった。

・令和4年度実態把握調査（地域住民）について、古橋主幹から、会議後記入の上、提出いただきたいとの説明があった。

・次回議長長の選出について意見を求めたところ、多くの委員から宮崎会長を推挙する旨の発言があった。

・次回会議は、令和5年2月3日（金）午後1時00分から第1会議室で開催する旨の連絡があった。